※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１０

令和５年度　地理歴史・公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校「公共」　（数研出版）						
副教材等	「テーマ別資料　公共」（東京法令出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治に関わる様々な問題や経済の基本を学ぶことによって、いま世界で起こっている事柄を理解できるだけでなく、それらが自分につながっているということがわかります。これから社会に出ていくにあたって必要な知識や考える力を身に付けてください。
公共で学ぶ知識は、暗記するだけでは活きません。日々のニュースなどに興味を持ち、調べたり、教員に尋ねたりするなどして学びを深めてくれたら嬉しいです。

２　学習の到達目標

現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
また、現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
さらに、よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論，及び倫理，政治，経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに，諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について，事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，解決に向けて公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	国家及び社会の形成者として，よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	公共的な空間をつくる私たち	1 大人ってどんな人？ 2 お互いを理解し尊重するために 3 誰もが生きやすい社会へ	a：青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解できている。 b：自己形成の課題について考察できている。 ・自分と異なる価値観に基づく主張を聴いたり，様々な立場に立って共感的に他者の思いを受け入れたりすることができている。 c:自主的に公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体であるということを自覚した行動をとることができている	・定期考査 ・定期的な小テスト	・定期考査 ・ワークシート ・定期的な小テスト ・発表やグループワーク	・ワークシート ・レポート課題 ・発表やグループワーク ・観察
	公共的な空間における人間としてのあり方生き方	第 1 節 西洋近現代の思想 第 2 節 現代の諸課題と倫理	a：近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容や地球環境問題，資源・エネルギー問題，生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている b：公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。 c：選択・判断の手掛かりとなる考え方を使って，現代の諸課題を主体的に追究できている。	・定期考査 ・定期的な小テスト	・定期考査 ・ワークシート ・定期的な小テスト ・発表やグループワーク	・ワークシート ・レポート課題 ・発表やグループワーク ・観察

※令和４年度以降入学生用

1	公共的な空間における基本原理	第 1 節 民主社会の基本原理 第 2 節 日本社会の基本原理	a：人間の尊厳と平等、個人の尊重，民主主義、法の支配、 自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解できている。 b：このような基本的原理を考察することによって、個人と社会との関わりを多面的・多角的に考察することができている c：民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。	・定期考査 ・定期的な小テスト	・定期考査 ・ワークシート ・定期的な小テスト ・発表やグループワーク	・ワークシート ・レポート課題 ・発表やグループワーク ・観察
2	ルールをつくり守る私たち	第 1 節 法と契約 第 2 節 司法参加の意義	a：法や規範の意義や役割や公正な裁判には司法権の独立が必要であり、国民の参加が大切であることが理解できている。 b：裁判によって国民のどのような権利が守られているのかを考察できている。 c：模擬裁判などを通して、司法に関心を持ち裁判員制度の意義をふまえ積極的に参画する自覚を持つことができている。	・定期考査 ・定期的な小テスト	・定期考査 ・ワークシート ・定期的な小テスト ・発表やグループワーク	・ワークシート ・レポート課題 ・発表やグループワーク ・観察

※令和４年度以降入学生用

	政治に参加する私たち	第 1 節 政治参加と民主政治の 課題 第 2 節 国際政治の動向 第 3 節 国際政治の課題と日本の役割	a：地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を考察することによって具体的に民主政治を支える制度や冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。 b：選挙制度の違いによって、政党制にも大きな違いがでてくることを考察できている。 ・国際問題について自分なりの意見を持ち、他者に説明できている。 c：模擬投票などを通して、選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができている。	・定期考査 ・定期的な小テスト	・定期考査 ・ワークシート ・定期的な小テスト ・発表やグループワーク	・ワークシート ・レポート課題 ・発表やグループワーク ・観察
3	経済活動を行う私たち	第 1 節 経済のしくみと産業の変化 第 2 節 市場経済のしくみと金融 第 3 節 財政と社会保障 第 4 節 国際経済の動向と課題	a：市場経済のメカニズムが理解できている。 ・各種経済指標を理解し，その指標の動向を読み解くことができている。 b：GDP が大きいことが豊かさにつながるのかどうか、豊かさについて自分なりに判断できている。 c：経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しがたてられている。	・定期考査 ・定期的な小テスト	・定期考査 ・ワークシート ・定期的な小テスト ・発表やグループワーク	・ワークシート ・レポート課題 ・発表やグループワーク ・観察

※令和４年度以降入学生用

	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・課題探究の観点 ・課題探究の手引き	a: 現代社会の諸問題について、その問題の所在、現状、問題点などが理解できている。 b: 現代社会の諸問題を多角的・多面的に考察し、その内容をレポートや口頭発表などによって的確に表現できている。 c: 現代社会の特質から生じる価値の対立について、討論やディベートなどさまざまな方法を活用して主体的に探究できている。	・定期考査 ・定期的な小テスト	・定期考査 ・ワークシート ・定期的な小テスト ・発表やグループワーク	・ワークシート ・レポート課題 ・発表やグループワーク ・観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度